

**配布エリア 水戸・ひたちなか周辺版 120,000部発行**

水戸市・ひたちなか市・笠間市・大洗町の全域、  
那珂市・茨城町の一部に配布しています。



茨城エリア 1	水戸・ひたちなか 周辺版 120,000 部発行	水戸市・ひたちなか市・笠間市・東茨城郡大洗町の全域、那珂市・東茨城郡茨城町の一部に配布しております。 (読売新聞・朝日新聞をメインとし、ほかに茨城新聞・産経新聞の一部など4紙に折込)
------------	--------------------------------	--

## 【セールスポイント】

1. 人口の多い水戸市（人口27万人）とひたちなか市（15.7万人）の周辺を、効率良く網羅しており、多くの流入数が見込めます。
2. 水戸市・ひたちなか市・東茨城郡大洗町全域に限らず、笠間市にもほぼ全域と広範囲から人材供給可能とするべく東茨城郡茨城町・那珂市の一部にも配布するエリア構成となっております。
3. 水戸駅付近および郊外にもショッピングモール、観光資源にも恵まれたエリアです。マイカー・公共機関での行動範囲が広がっており、地元通勤の方の流れを考慮した、通勤圏にこだわったエリアを設定しております。

## 【このエリアの特性】

茨城県の中部に位置する水戸近郊エリアです。水戸市は茨城県の県庁所在地として発展し、商業施設も多く、駅ビル・水戸オーパ（平成29年3月18日オープン）・京成百貨店・イオンモール水戸内原・イオンタウン水戸南などがあります。ひたちなか市（東茨城郡大洗町含む）は観光資源として、海水浴場や国営ひたち海浜公園があり、付近にはファッションクルーズニューポートひたちなか、大洗リゾートアウトレット、アクアワールド・大洗などがあります。工業団地も立地しており、電気や機械・精密機器・紙製品などの工業や水産加工業を主体とした、食品製造関係水産業も盛んなエリアとなっております。

### ※隣接する版と同時利用で、より効果的な募集に！

隣接版は、那珂・常陸大宮・常陸太田版、日立版、石岡・笠間・鉾田版となっております。マイカー通勤が主体のエリアのため、隣接する地域への労働人口の移動も多く、隣接版も十分通勤圏内となります。また電車通勤者を狙う場合は、常磐線沿線上の日立版、石岡・笠間・鉾田版が有効的です。

## 【他紙との比較（当版の特徴）】

他紙とはエリア構成が異なり、当版はエリア特性を十分に考慮し、マイカー通勤する求職者に向けた設定、他紙に比べ最もエリアにマッチした構成となっております。